CAHAI｜役割と支援の記録

Chedoke Arm and Hand Activity Inventory / 麻痺手の役割を記録

氏名／ID：_____ 評価日：_____ 評価者：_____

使用版：□13 □9 □8 □7 麻痺側：□右 □左 発症前利き手：□右 □左

疾患／発症日：_____ 疼痛・疲労：_____

正式得点は公式用紙で判定。以下には、注目した課題と麻痺手の役割、実際に必要だった支援を記録します。原版の項目別条件と照合して使います。

観察課題①：_____

麻痺手の役割：□操作 □安定化 □両方 対象物・担当：_____

見られた動作／止まった段階：_____

支えの場所・種類／声かけと必要だった理由：_____

_____

用具・姿勢・支持条件：_____

観察課題②：_____

麻痺手の役割：□操作 □安定化 □両方 対象物・担当：_____

見られた動作／止まった段階：_____

支えの場所・種類／声かけと必要だった理由：_____

_____

用具・姿勢・支持条件：_____

観察課題③：_____

麻痺手の役割：□操作 □安定化 □両方 対象物・担当：_____

見られた動作／止まった段階：_____

支えの場所・種類／声かけと必要だった理由：_____

_____

用具・姿勢・支持条件：_____

公式採点表から転記：合計_____／_____点 未実施・変更：_____

公式採点表（クリック）　　公式マニュアル（クリック）

CAHAI｜生活目標と再評価

Chedoke Arm and Hand Activity Inventory / 麻痺手の役割を記録

氏名／ID：_____ 評価日：_____ 評価者：_____

01　本人が取り戻したい両手の作業／現在の方法

02　麻痺手に任せたい役割と、開始しやすい条件

03　練習内容（道具・回数・支え・休憩・家庭で行う場面）

04　家族が手伝う場所／本人に任せる部分

05　再評価（同じ版・役割・用具か／点数と生活の変化）

前回：____／____点 → 今回：____／____点　同じ版：□はい □いいえ

解釈：13項目版のMDCとして6.3点が報告されています。生活自立や本人に重要な変化の境界ではありません。項目別の支援と、生活で使う機会の変化も確認します。

原著：Barreca et al., 2005（クリックで開く）

観察評価と本人の報告：Tsai et al., 2024（クリックで開く）

原資料・利用条件はCAHAI公式サイトで確認できます。本紙は公式採点表の改変・翻訳版ではありません。